

まち一番のご長寿

香南市には元気な高齢者の方がたくさんおいでです。七十五歳以上の方は五千百三十四人で最高齢は野市町の森脇数衛さん、百五歳。香我美町の小原儀政さん百四歳とともに昨年の紙面で紹介させていただきました。今年には各5町の最高齢の方をご紹介します。



森脇 数衛さん (野市町)
明治37年4月20日生まれ

105歳



小原 儀政さん (香我美町)
明治38年7月19日生まれ

104歳



有安 政子さん (夜須町)
明治40年11月1日生まれ

101歳

まちが誇るスーパーおばあちゃん

現在は夜須町の病院で穏やかに生活されていますが、以前は書道・短歌・カラオケ・英会話など多彩な趣味を重ね、また地域の高齢者クラブや女性会・保育園などでも元気に活躍されていました。

いつも周りの人を楽しませてくれる有安さんは、家族にとってはスーパースター、たくさんのファンがいるアイドルおばあちゃんです。

生涯を青春なりと信じつつ命の限り学びつづけん

有安さんが米寿(88歳)を迎えた年に詠んだ歌です。

19歳で小学校教員となり、以来37年間の教員生活を終えて趣味の道に入ったのは70歳の時だそうです。

清書文字に賜いし〇印を教えつつ幼にかえる書道教室

70歳からの勉強で、思うように上達しないけれど書道教室で先生に褒めてもらったり、作品に赤丸の入った時はうれしくて、子どものように数えます…と詠まれ、勉強の成果を試して女流展やオールドパワー展など方々の展示会に出展するなど常に前向きでした。

紅の花右手に持ちて声を張り『人生』を歌うこのよろこびを

カラオケでは「NHKのど自慢」に2度、近隣のカラオケ大会や「歌って走ってキャラバン」には度々出場し、歌って踊る有安さんの大熱演は、まちのイベントの花でした。

英会話は若いカナダ人の先生に個人指導を受け、友達に電話するときは「エクスキューズミー」。米寿の年に「学び」に関する随想文の全国募集4000通の中から「まなびすと大賞」を受け、東京での表彰式の舞台上で「ハッピー」と叫んで大喝采を博したそうです。

百二十歳まで髪結いたのめば美容師は元気に百まで結うと答える

そんな有安さんの姿に、たくさんの人が元気づけられています。



岡 千鶴さん (赤岡町)
明治42年1月10日生まれ

100歳



都築 芳乃さん (吉川町)
明治43年7月2日生まれ

99歳



敬老の日を寿ぐ

お年寄りの知恵を借りて村づくりを！
1947年(昭和22年)、兵庫県の村長が始めた村づくりの集いが「敬老の日」の起源です。
農閑期で気候も良い9月中旬に日を定めた敬老会は全国に広がり、1966年(昭和41年)「敬老の日」は国民の祝日に定められました。

たいしたことは、ようしませんけど。よう来てくれました！



9月21日は敬老の日。
市主催の敬老会は、新型インフルエンザの流行で残念ながら中止となりましたが、地域で開催される各地区の敬老会は年々増え、手作りでにぎやかに催されました。
今年も、吉川町や野市町の各地区で初の敬老会が開催され、民生委員や女性会・高齢者クラブや町内会など、各種団体が協力し、心尽くしの会場で長寿を祝いました。久しぶりに集まった高齢者の方たちの元気な顔や工夫を凝らした余興で「今日はお腹がよじれるばあ、笑った」という声に、開催に汗した皆さんは「喜んでもらえて良かった」と、うれしそうでした。



また、来年もやりますき。お元気でぜひ来てくださーいね！